1　国家戦略としての京都創生について

山紫水明の京都は，1200年を超える悠久の歴史に育まれ，今も日本の伝統・文化が生き続ける世界でも稀有の歴史都市であり，我が国の，また国民の貴重な財産であります。

この京都の持つ歴史的・文化的な価値を，守り活かすことに国として取り組むべきであるという意見が，日本建築学会や京都経済同友会をはじめ，各方面で高まりを見せる中で，昨年，「京都創生懇談会」（座長：梅原猛国際日本文化研究センター顧問）から，京都を我が国の歴史文化の象徴として保全・再生・創造し，活用・発信する，即ち国家の戦略として創生することの重大性とそのための道筋を示した提言が出されました。加えて，同懇談会からの提案により有識者からなる「京都創生百人委員会」も設立され，京都創生を国民的な運動にするための活動が始められております。

京都市としましては，こうした動きを重く受け止め，直ちに国策としての力強い取組をお願いするとともに，国家戦略としての京都創生の必要性について広く関係者の理解を得る努力を重ね，また自ら景観や文化，観光面での取組を推進して参りました。

現在，国におかれては，観光立国懇談会報告書，文化庁国際交流懇談会報告書，美しい国づくり政策大綱などの国の政策の方向を示す報告書が出されておりますが，ここで謳われている日本人のアイデンティティーの確立・再認識，美しい日本の再生，文化の振興，国際社会への発信といったものを実現するためには，世界の宝である京都を国を挙げて再生し，活用することが最も効果的かつ効率的であると考えます。

そこで，平成17年度の編成に当たって，以下の提案を行います。

(1)　景観整備機構に係る寄付金控除制度の創設等，景観行政を更に推進するための新たな制度の創設
(2)　京都らしい町並み景観を形成するための京町家等の新築・建て替えを可能とする建築基準法の改正
(3)　伝統的建造物群保存地区保存事業の充実
(4)　鴨東（おうとう）・嵯峨嵐山地区等における電線類地中化の集中的な推進
(5)　古都における歴史的風土の保存のための総合的対策
(6)　京都の文化財の保護と活用のための総合的対策
(7)　京都の文化財を震災等から守るための総合的な対策
(8)　京都を拠点とする国家的な外国人観光客の誘致戦略の推進

＜参考＞

○ 京都創生懇談会「国家戦略としての京都創生の提言」　　平成15年６月

◇ 主な内容

1　京都創生を国家戦略として位置付けた上での必要かつ十分な財源確保

2　京都の景観を保全・再生・創造するための総合的対策

3　京都歴史博物館の建設と京都に蓄積する文化財の保護・活用のための総合的対策

4　京都を拠点とする国家的な国際観光戦略の推進

○ 日本建築学会「京都の都市景観の再生に関する提言」　　平成14年６月

○ 京都経済同友会「新生京都をめざして」　　昭和61年３月

「京都の都市再生推進に向けての緊急提言」　平成14年７月

○「京都創生百人委員会」の設立　　平成15年10月

◇ 世話人代表　梅原　　猛　　国際日本文化研究センター顧問

世話人　　秋山　　宏　　日本建築学会会長（日本大学教授）

世話人　　上村多恵子　　京都経済同友会常任幹事

世話人　　岡崎　甚幸　　日本建築学会京都の都市景観特別研究委員会委員長・武庫川女子大学教授（京都大学名誉教授）

世話人　　片岡仁左衛門　　歌舞伎俳優

世話人　　高階　秀爾　　大原美術館館長（東京大学名誉教授）

世話人　　豊田章一郎　　トヨタ自動車（株）名誉会長

世話人　　西島　安則　　産業技術研究所長（元京都大学総長）

世話人　　芳賀　　徹　　京都造形芸術大学長（東京大学名誉教授）

世話人　　村田　純一　　京都商工会議所会頭

世話人　　山本富士子　　女優

世話人　　冷泉貴実子　　冷泉家時雨亭文庫事務局長

◇ 委員数　　２６０名（平成16年５月末現在）